



あけましておめでとうございます。

本年も「もがみがわ緊プロNEWS」をどうぞよろしく願いたします。

昨年は、現地での測量作業や地質調査等の実施にご協力いただき大変ありがとうございました。本号では、令和6年の事業進捗状況と令和7年の当面の予定をお知らせいたします。裏面には近年の治水の考え方である「流域治水」について、大石田町の取り組み事例も含め、特集しておりますのであわせてご覧ください。

令和6年の事業進捗状況についてお知らせします

【 堤防整備 ・ 大石田大橋架け替え 】

1月:大橋架替に関する地区別意見交換会

使いやすい大橋と取付道路にするため、地域の皆様から様々なご意見をいただきました。

3月:堤防整備事業についての補償に関する説明会

堤防整備に係る用地補償の考え方について、説明会を開催しました。

大橋架替に関する事業計画及び用地調査説明会

大石田大橋架け替え事業について、説明会を開催しました。

7月:大橋架替に係る測量(～11月)

大橋架け替えに伴う道路設計のため、横山、大石田両地区で路線測量を実施しました。

大橋架替に係る用地調査(～12月)

大橋架け替えに必要な用地について、用地調査を実施しました。

8月:大橋架替に係る地質調査(～9月)

橋梁設計に必要な地質状況を把握するため、3箇所でのボーリング調査を実施しました。

9月:大石田地区付替道路に関する説明会

設計の進捗に伴い、大石田地区を対象に付替道路計画について説明会を開催しました。

11月:内水対策に関する意見交換会

国の治水対策による内水への影響や県管理の支川対策、町の水防活動等について、幅広く意見交換を行いました。

大橋架替に係る用地境界立ち会い

大橋架け替えに必要な用地について、土地境界の確認をいただきました。

【3月】



大橋架替に関する事業計画説明会

【9月】



大石田地区付替道路に関する説明会

【11月】



内水対策に関する意見交換会

【 かわまちづくり 】

2月:第1回かわまちづくりワークショップ

大石田町の魅力やこれからの最上川(かわ)と大石田町(まち)の在り方についてワークショップを開催し、活発な意見交換を行いました。

6月:第2回かわまちづくりワークショップ

第1回ワークショップを踏まえ、3つのゾーンに区分けし、ハード・ソフト両面から検討いただきました。それぞれの班でユニークかつ斬新なアイデアを発表いただきました。

7月:水辺で乾杯

ミズベリングの一環として、舟役所大門跡を会場に初めて開催いたしました。

:第3・4回かわまちづくりワークショップ

町内の小中学生より「最上川でやってみたいこと」等について多くのアイデアいただきました。

【6月】



第2回かわまちづくりワークショップ

【7月】



水辺で乾杯!

令和7年 当面の予定

- 1月:かわまちづくり協議会設立
2月:大橋架替に係る用地図面確認会
6月以降:大橋架替に係る用地個別協議
10月以降:大橋下部工(P1橋脚)着工予定 ※河川内での工事になります。

裏面も ご覧ください

# 特集『流域治水』

「最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクト」は、全国各地で展開されている『流域治水』の取り組みの1つとして、計画的に推進しています。『流域治水』とは、懸念される水害の激甚化・頻発化に備え、集水域から氾濫域にわたる流域全体のあらゆる関係者が協働して、流域全体で水害を軽減させる治水対策です。

今回は、実際に実施されている具体的な対策として、国土交通省が実施する「氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策」と大石田町が実施する「被害対象を減少させるための対策」と「被害の軽減、早期復旧のための対策」を紹介いたします。

あらゆる関係者(行政・企業・住民)が  
あらゆる場所(河川区域や氾濫域・集水域)で 協働して行う『流域治水』施策イメージ

**① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らす**

**集水域**  
 ためる、しみこませる  
 水田貯留  
 ため池等の治水利用 等

**河川区域**  
 ためる  
 治水ダムの建設・再生  
 遊水地等の整備・  
 利水ダムの活用 等  
**安全に流す**  
 河床掘削等の整備  
 氾濫水を減らす  
 堤防の強化 等



**② 被害対象を減少させる**

**氾濫域**  
 よりリスクの低いエリアへ誘導  
 土地利用規制、誘導、  
 移転促進 等  
 被害範囲を限定する  
 二線堤防の整備、  
 自然堤防の保全 等

**③ 被害軽減・早期復旧・復興**



**土地のリスク情報の充実**  
 ハザードマップ等のリスク情報の充実 等  
**避難体制を強化する**  
 河川水位等の長期予測の技術開発

**経済被害の最小化**  
 工場や建築物の浸水対策 等  
**住まい方の工夫**  
 不動産取引時の水災害リスク情報提供 等

**支援体制を充実する**  
 災害ホットラインの構築 等  
**氾濫水位を早く排除する**  
 排水ポンプ車の配置 等

**① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らす**

**河川区域【国交省が実施】**

R2.7豪雨の再度災害防止対策として大規模災害関連事業を実施  
 最上川中流(新庄河川事務所管内)では、河川からの氾濫を防止する「大石田・横山地区堤防整備(引堤)」と河川の水位を低下させる「河道掘削」を実施しております。上流区間では下流域の河川水位低減を図る「大久保遊水地の改良」や洪水流下のボトルネック箇所における「分水路整備」を実施しており、流域治水の考えのもと最上川中流・上流それぞれの箇所役割を分担し事業を実施しています。

河川内の土砂を掘削・撤去し、河道断面を広げ流下能力を向上させる。  
 →最上川の流下能力を増加

**④ 大淀分水路 (村山市)**  
 ボトルネックで流下阻害となっている箇所に分水路を整備し、洪水をスムーズに流下させる。  
 →上流域に対する洪水流量の減少

**② 大久保遊水地(改良) (村山市・河北町)**  
 既存の遊水地を改良(嵩上げし、洪水ピーク流量を減少させ、下流へ流れる洪水量を減らす。  
 →下流域に対する洪水流量の減少

**③ 大石田・横山地区堤防整備 (大石田町)**  
 堤防を宅地側に引いて川の断面積を拡げることによって洪水時の水位を低下させる。  
 →大石田・横山地区の洪水水位の低下

**② 被害対象を減少させる**

**氾濫域【大石田町が実施】**

立地適正化計画による居住誘導  
 居住誘導区域及び都市機能誘導区域から災害危険性の高いエリアを除外することで、災害リスクの高い地域への立地を抑制し、土地利用の規制・誘導により災害リスクの回避・低減を図っています。

**③ 被害軽減・早期復旧・復興**

**氾濫域【大石田町が実施】**

水害リスク情報の充実と普及  
 防災マップを町内全戸に配布し、水害リスク情報の充実及び普及を図っています。また、内水対策に関する意見交換会を開催し、内水浸水想定区域の防災・減災対策について情報提供を行っています。

## 【もがみがわ中流・上流 緊急治水対策プロジェクトのお問い合わせ先】

治水対策に関する疑問や意見についてお気軽にお問い合わせください。  
 移転に伴う不安や問題についても、遠慮なくご相談ください。

**国土交通省** 東北地方整備局 新庄河川事務所  
 事業計画に関すること/難波 (TEL)0233-22-0254  
 用地に関すること /三部 (TEL)0233-22-0253

ホームページもご覧ください  
<https://www.thr.mlit.go.jp/shinjyou>

**大石田町 建設課**  
 治水・定住対策グループ/松田  
 (TEL)0237-35-2111

ホームページもご覧ください  
<https://www.town.oishida.yamagata.jp>